

研修報告：ウィーン美術大学保存技術学科 ヨ ーロッパにおける修復家養成教育の一例

著者	長谷川 三郎
雑誌名	国立西洋美術館年報
巻	14
ページ	28-56
発行年	1981-03-31
URL	http://id.nii.ac.jp/1263/00000502/

長谷川三郎

Meisterschule für Konservierung und Technologie an der Hochschule
„Akademie der bildenden Künste“ in Wien

——ein Beispiel der Ausbildung von Restauratoren in Europa——

Saburoh HASEGAWA

ウィーン美術大学の歴史は、1692年、神聖ローマ皇帝レオポルト一世治下に創設された「絵画・彫刻・築城・遠近法および建築芸術のアカデミア」¹⁾に始まる。「近代的な意味での最初の真の美術アカデミー」は1577年に創設されたローマのアカデミア・ディ・サン・ルカであるとされ²⁾、イタリアにおいてはそれ以前にもペルージアのアカデミア・ディ・ベルレ・アルティ（1546年）やフィレンツェのアカデミア・ディ・ディゼーニョ（1563年）などの例がある。しかしアルプス以北の諸都市における美術アカデミーの歴史は、殆ど18世紀に始まり、ウィーンのアカデミー（以後便宜的にウィーン・アカデミーと記す）は中部ヨーロッパにおいては最も古い歴史を有している。

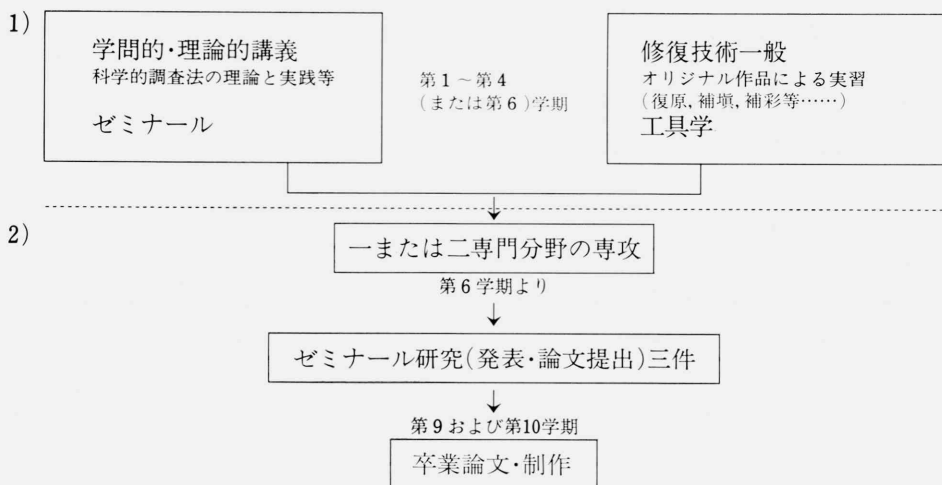
ウィーン・アカデミーに保存修復関係の講座を設置しようとする気運は、既に今世紀初頭に芽生えていた。1902年、教育省が修復家のための講座を設置することを提案し³⁾、1908年、画家エドゥアルト・ゲリッシュ⁴⁾を主任として画家志望学生のための補助科目の一つとして修復講座が設けられた⁵⁾。この講座は1915年ゲリッシュが歿するまで続いたが、その後一時中断し、1917年、画家ゼラフィ・マウラー⁶⁾によって再開された⁷⁾。その後、マウラーの尽力で不断の整備拡充が続けられた結果、1925年、修復講

座は学則に正式登録された。マウラーは自費でレントゲン実験室を設置し、1933年に退職するまでこの講座の指導を続けた⁸⁾。1933年、マウラーの後任となったロベルト・アイゲンベルガー博士⁹⁾は、翌年には保存修復技術の助教授の地位を確立し、単なる絵画修復の一講座に過ぎなかった科目を一つの学科として独立させた。アイゲンベルガーの目指していた新しい保存修復学科は、絵画彫刻技法史、板絵・麻布画・フレスコ画等の材料学ならびに麻布の張り方に至るまでの実践的な技術とか、湿気が地塗りに及ぼす影響等々、保存と修復に関する多様な内容を包括しようとするものであった。そして1935年、この学科はアイゲンベルガーの希望によって学則を改正して「保存および技術学専門学科」¹⁰⁾と呼ばれるようになった。同じ年にアイゲンベルガーは正教授に任命され、この新学科はウィーン・アカデミー内に他の実技学科と並ぶ確固とした位置を獲得したのであった。さらに1937年、彼は門下生への学位授与を提案し、国有美術品のすべての修復は彼等のために手をつけないで残しておくべきであると提言している¹¹⁾。アイゲンベルガーは、ウィーン・アカデミーにおける修復家養成コースの真の創設者であったばかりではなく、オーストリアにおける文化財保護に多大の貢献を果した人物であった

と言えよう。彼の創設した「保存および技術学専門学科」は、ナチス時代のアカデミー改組(1939年)¹²⁾と第二次大戦後の再建の時期との二度にわたって若干名称が変更されて今日に至っている¹³⁾。アイゲンベルガーは1965年の停年まで主任教授を務め、現在の主任教授であるヘルムート・コルトンが後任となった。同じ1965年、版画素描及び紙類の修復講座が同学科内に設けられ、保存技術学科は修復家養成学科としてほぼ理想的な内容に整備された。

さて現在の保存技術学科では、主任教授ヘルムート・コルトン博士のもとに、アカデミー修復家の称号を持つ四名の専任教官の他、内外15名の教授や修復家がそれぞれ専門の保存修復技

術を初めとする専攻科目や文化財保護に関連する補助科目の教鞭を取っている¹⁴⁾。若い修復家の養成を目的とするこの保存技術学科では、修復と保存のあらゆる領域に関する知識と技術が可能な限り広範囲にわたって教授されている。しかし、さまざまな芸術形式の領域や多種多様な材料・技法に関して細大洩らさず教授し、また修復家となるべき学生達がそれらすべてを習得することは、理想的ではあっても不可能であろう。従って今日の修復家養成においては、修復家を目指す学生達に一つあるいは二つに限定した専門分野を専攻させなければならない。そのような観点から、ウィーン・アカデミーの保存技術学科は次のように大きく二分された教育課程に従って教育が実施されている。



言うまでもなく当学科に入学するためにはし
かるべき資質と資格を具え、入学選抜試験にお
いて好成績をおさめなければならない。まず入
学試験受験許可を得るには、大学入学資格を取
得しているか、さもなければ何らかの職人組合
(例えば金箔師、指物師、金工師、刷り師など)
の試験に合格していなければならない。また、
芸術的に熟達した能力を有することを証明する
ために、本人の手になる作品集(素描集、絵画
集、彫刻や大作の場合には写真集、既に従事し
た修復作業の記録など)を提出しなければならない。
これらの資料に基き大学教授会が受験希望者の
資格審査を行い、この審査をパスした者だけが
入学試験を受けることができる。入学試験は何
日間にもわたって実施され、芸術的かつ知的な
資質あるいは職人的な才能などを試す問題が出
題される。

前頁に掲げたカリキュラム概略表における
1)のセクション、つまり第1～第4(あるいは
第6)学期¹⁵⁾の講義と実習はすべての学生に義
務づけられている。この修復家養成教育の第一
課程は、学問的理論的講義と実践的な修復基礎
実習との二つに大別される。この期間に、学生
達は修復と文化財保護に関する基本的な原理と
技術を習得させられる。以下に各講義と実習に
ついてその内容を概説しておく¹⁶⁾。

A) 学問的・理論的講義およびゼミナール

〈解剖学と解剖図作成〉

人体の骨格や筋肉に関する解剖学講義；人体
標本による精確な解剖図作成の実習

〈遠近法〉

簡単な三角法の問題の把握と空間遠近法

〈色彩学〉(2年間)

色彩学の物理学的基礎、視覚の生理学、美学
的な見地による色彩学

〈色素化学および絵画材料学〉

色素化学の基礎；顔料、染料および絵画材料
(白亜、ワニス、油、溶剤など)の製法と性質

〈色素化学演習および美術の諸技法〉(2年間)

色素化学演習(絵具サンプルの研磨)；溶剤、
合成物質、接着剤、建材、岩石、金属につい
て；美術の諸技法(壁画、テンペラ、水彩、油
彩、パステル、絵画基底材など)の概説

〈修復家のための化学復習〉

有機および無機化学の基礎概説

〈保存の自然科学的原理〉

修復のための自然科学的な補助技術、例えば
顕微鏡による調査、科学写真、レントゲン、分
析などの技術解説

〈修復家のための美術史〉(6学期間)

古代から近代に至る美術史概説

〈美術史演習〉

図像学的、様式のおよび美的な面にわたる詳
細な討論

〈文化財保護における実際的な修復上の諸問題〉

修復の実例に基き、修復作業の最も重要な技
術上の総合的な問題が解説され討議される

〈修復家のための書法〉

古代から現代に至る重要な書体の解説と実習

〈法律学〉

修復家のための法律の基礎概説

〈文化財の調査と保護〉

修復に関する諸協定の解説(ヴェネツィア憲
章と文化財保護)(戦時下における文化財の保

護のためのハーグ条約)；環境破壊(地震、洪水、火事など)に際しての文化財保護、盗難防止

〈ゼミナール〉

客員講師による講演のほか、学生によるゼミナール研究が発表され討論される

——以上すべての講義の受講と受験は学生に義務づけられている——

B) 修復技術一般とオリジナル作品による実習、復原、補完、模写

これらの授業は毎日午前9時から午後1時まで行われ、出席はすべての学生の義務であり、最初の二年間で履修しなければならない。また学生は第6学期以後も更に同様の内容を継続発展研究することも可能である。

第1—2学期

〈木彫の金銀箔地・彩色¹⁷⁾および彫刻の修復〉

金箔技法を中心に関連諸技法について解説；同実習において試作制作、その後オリジナル作品を教材として彫刻修復の実習

〈工具学および木工学〉

木工作業のための種々の重要な工具(金槌、鋸、鉋、鑿など)とそれらの手入れおよび取扱ひ方(切る、挽く、削るなど)；簡単な刻み模様から始めて木彫像の補完や模刻にわたる木彫実習；木工学(木材の種類、加工、用途)

〈復原、補完、模写〉

この実習は次のような過程に従って実施される：単純な対象物、石膏モデル、彫刻の正確な素描；色彩実習(色環、色の三属性に基づく小色面の塗り分け)；写真と複製印刷を用いた補彩実習；模写二点制作(素描と混合技法)

第3—4学期

〈絵画作品の修復〉

絵画修復の基本的な問題と技法に関する解説とオリジナル作品を用いた実習(ホット・テーブル、アイロン、または真空袋と放熱管を使用する裏打ち法——即ちワックス接着剤または合成樹脂接着剤による裏打ち——、プレス裏打ち法——糊による裏打ち——、絵具と地塗りおよび麻布の再生修復、絵具層および地塗り層の剝離部分の固定、画面の洗浄と補彩、帯状裏打ち、亀裂部の裏貼り補強など)

以上最初の二年間の修業課程を修了した後、学生は卒業論文・制作の研究テーマとなる専門分野を専攻することができる。

〈版画素描および紙類の修復〉

講義では版画素描の種々の技法(版画技法、水彩、パステルなど)とともに各種の基底材(パピルス、紙、羊皮紙、織物、象牙)、また修復処置について解説される；特に紙類に生ずる特殊な損傷——紙類は極めて敏感かつ脆弱である(光、湿気、虫、酸、インク、火などによる劣化、破損)——について説明が行われる

実習ではオリジナル作品を教材としてさまざまな修復技術が実践的に教授される(乾式洗浄、湿式洗浄、再生、酸の中和、製紙法による欠損部の補填、裏打ち、燻蒸、殺菌、補彩など)

〈金属工芸品および出土品の保存〉

さまざまな金属加工技術、金属製品の修復技術(錆の除去、酸の中和、腐食によって劣化した部分の固定など)、ならびに出土品(陶器、金属、ガラス、石、皮、木などの製品)の保存に関する解説と実習

〈考古文化財の保護と発掘技術〉

発掘地において修復家が関与すべき範囲内について講義される（土中における出土品の記録調査、発掘現場での出土品の破損予防安全処置など）

〈陶磁器、石製品、ガラス等の修復〉

陶器の材料技法に関する歴史的概説；実習では小さな陶製品の試作、学生所有の雑器の修復から始められる

〈楽器の保存〉

オリジナル作品の修復ならびに古楽器の模造制作；楽器の構造と原理の理解

〈自然観察と裸体デッサン〉

この授業はすべての年度の学生の必修科目で、美術の不断の修業と熟達のために設けられている講義である

第5学期から第9学期にかけての間に、各々の学生は保存と修復の特殊な問題を扱ったゼミナール研究を三件発表しなければならない。しかしまた材料・技法についても論究しなければならない¹⁸⁾。

第9および第10学期に学生は卒業論文・制作に取り組む。この論文・制作は、学問的理論的な問題を扱った論文とオリジナル作品の修復実践とによって成立する。論文では、例えば実際の修復上の問題とか極めて困難な技術、あるいは自然科学的な作品調査などを扱うことができる¹⁹⁾。修復実践では、少なくとも二点の作品を手がけ、その修復記録を提出しなければならない。

以上、五年間の修業を終了した学生にはアカデミー修復家の称号が授与される。

註

- 1) Academia von der Mallerer-, Bildhauer-, Fortification-, Prospectiv- und Architectur-Kunst. ウィーン・アカデミーの歴史については Walter Wagner, *Die Geschichte der Akademie der bildenden Künste in Wien*, Wien 1967（以後 Wagner, *Geschichte* と略記する）に詳述されている。創設の経緯については同書 S. 18 以下を参照。
- 2) Accademia di San Luca. Wagner, *Geschichte*, S. 15 参照。
- 3) Wagner, *Geschichte*, S. 264 参照。
- 4) Eduard Gerisch (1853–1915) はメーレン地方ゲヴィッチュ Gewitsch 出身の画家。
- 5) Wagner, *Geschichte*, S. 265 参照。
- 6) Serafin Maurer (1865–1945) はウィーン出身の画家。1921 年、助教授。
- 7) Wagner, *Geschichte*, S. 265 参照。
- 8) Wagner, *Geschichte*, S. 305 参照。
- 9) Dr. Robert Eigenberger (1890–1979) はバーメン地方ゼートリッツ Sedlitz 出身の画家、修復家、美術史家。保存技術学科の主任教授を長く務めた他、宗教美術研究室主任 (1961–65)、学長 (1951–53, 1954/55)、学長代行 (1953/54, 1955–57) 等を歴任。
- 10) Fachschule für Konservierung und Technologie。
- 11) 同学科設立の経緯については Wagner, *Geschichte*, S. 305 参照。
- 12) Wagner, *Geschichte*, S. 339 参照。
- 13) 付表 (ANHANG) 3)。
- 14) 付表 (ANHANG) 1)。
- 15) 欧米一般の学期制度と同じく、一年二学期制であり、奇数は冬学期 (10月～1月)、偶数は夏学期 (3月～6月) に相当する。
- 16) 授業の科目と時間および担当教授については付表 (ANHANG) 2) を参照。
- 17) Faßmalerei の訳語として適当な術語を探すことは大変難しい。ここでは説明的に意識しておいた。
- 18) ゼミナール研究については ANHANG 5) を参照されたい。現在までのすべての研究テーマと発表者の一覧である。卒業論文と重複するテーマが多いので訳出しなかった。
- 19) 卒業論文については付表 (ANHANG) 4) を参照されたい。1980 年までのすべての論文の一覧である。

あとがき

1977年9月から1979年6月にかけて、筆者は文部省在外研究員としてウィーン美術大学保存技術学科に留学し、美術品の保存修復について研修を行った。その研修報告として、ここに同保存技術学科における修復家養成課程の実態を紹介することにした。欧米における修復家養成教育機関には、国立の文化財研究所ないし修復研究所あるいは美術館に設置されているものと、大学（美術学校）に設けられているものと二つに大別し得る。ブリュッセルの王立文化財研究所 Institut Royal du Patrimoine Artistique、ローマの中央修復研究所 Istituto Centrale del Restauro、ロンドンのナショナル・ギャラリー（テイト・ギャラリーおよびヴィクトリア・アンド・アルバート美術館と共同）The National Gallery (The Tate Gallery, The Victoria & Albert Museum)、チューリヒのスイス美術研究所 Schweizerisches Institut für Kunstwissenschaft、ニュルンベルク・ゲルマン国立博物館 Germanisches Nationalmuseum Nürnberg、オバーリン（オハイオ）のインターミュージアム研究所 Intermuseum Laboratory などが前者の代表的な例である。後者の例としては、ウィーン美術大学の他、ワルシャワ美術大学 Akademie der Bildenden Künste in Warschau 保存学部、シュトゥットガルト国立美術大学附属絵画技術学研究所 Institut für Technologie der Malerei an der Staatlichen Akademie der bildenden Künste、ロンドン大学コートールド美術研

究所 Courtauld Institute of Art, University of London、ニューヨーク大学美術研究所保存センター Conservation Center of the Institute of Fine Arts, New York University、ニューヨーク州立大学・ニューヨーク州歴史学会附属歴史美術作品保存研究所（クーパーズタウン）Conservation of Historic and Artistic Works などが知られている。このような各国の修復家養成機関の実態を、この小文においてウィーン美術大学の場合と比較検討することができたならば真に意義深いものとなったであろうが、現在の手許の資料では不可能であった。それは今後の課題としたい。

我国における修復家養成の実態は、我国固有の伝統的な技術についてはさて置き、体系的な保存修復学的見地からすれば残念乍ら甚だ不十分であると言わざるを得ない。また僅かの例を除き、国公立美術館博物館に保存修復部はもとより保存修復専任担当者すら存在しないという実状も、欧米諸国では考えられないことである。この小文が、このような現状に一石を投ずることになれば幸である。

この小報告執筆にあたり、ウィーン美術大学保存技術学科主任教授 Dr. ヘルムート・コルタン氏に資料を提供して頂いた。また筆者の留学中に同学科の助手を務め、現在文部省給費留学生として東京芸術大学保存技術学科で仏像修復技術を研修中のアカデミー修復家クラス・ハイスラー氏に御協力して頂いた。文末をかりて両氏にお礼申しあげたい。

付表 1)

保存技術学科教室専任教官

正教授哲学博士ヘルムート・コルタン（主任）
アカデミー修復家・彫刻家ハンス・マイヤル助手
アカデミー修復家ヘルガ・ローゼンベルガー
アカデミー修復家カリン・ヤホダ
アカデミー修復家スザンネ・コルタン

保存技術学科授業担当教官

アカデミー修復家・画家レナーテ・ベルトルマン
工学士工学博士ハンス・フォラミッティ
正教授アルフレート・ギーゼル博士
アカデミー修復家カリン・ヤホダ
アカデミー修復家フランツ・クレー名誉教授
哲学博士アカデミー修復家マンフレート・コラー
アカデミー修復家スザンネ・コルタン
アカデミー修復家ペーター・クセルカ
正教授フランツ・マイリンガー博士

アカデミー修復家・彫刻家ハンス・マイヤル助手
哲学博士ゲルトルーデ・モスラー
アカデミー修復家ルートヴィヒ・ノイシュティフター

エリカ・ライニング
ヨハン・ライニング
哲学博士ベルンハルト・リッティンガー助手
アカデミー修復家ヘルガ・ローゼンベルガー
工学士カール・スメタナ教授
アカデミー修復家オットー・ヴェヒター名誉教授

復原と補完（補填，補彩）
文化財の調査と保護
解剖学
版画素描および紙類の修復
金属工芸品および出土品の保存
文化財保護の実際的な諸問題
木彫の金銀箔地・彩色および彫刻の修復
楽器の保存
顕微鏡および科学写真
色彩学，色素化学
木工学
考古文化財の保護および発掘技術
陶磁器，石製品，ガラスおよび木製品の
修復
科学写真（ゼミナール）
科学写真
美術史
版画素描および紙類の修復
遠近法概論
紙類および版画素描の修復

（ウィーン美術大学「1978/79 冬学期履修手引」より）

付表 2)

保存技術学科授業時間表

第1学年度

アカデミー修復家スザンネ・コルタン

木彫の金銀箔地・彩色および彫刻の修復

週2時間

同実習

週10時間

(基礎概説)

アカデミー修復家・彫刻家ハンス・マイヤル助手

工具学および木工学Ⅰ

週4時間

アカデミー修復家・画家レナーテ・ベルトルマン

復原、補完および模写

週7時間

正教授アルフレート・ギーゼル博士

解剖学

週2時間

解剖図作成

週3時間

正教授フランツ・マイリンガー博士

色彩学(ⅠまたはⅡ)

週1時間

色素化学および絵画材料学

週2時間

色素化学演習および美術の諸技法

週2時間

修復家のための化学復習

週1時間

工学博士カール・スメタナ教授

遠近法概論

週2時間

哲学博士ベルンハルト・リッティンガー助手

修復家のための美術史(Ⅰ, ⅡまたはⅢ)

週2時間

同演習

週2時間

第2学年度

正教授哲学博士ヘルムート・コルタン

(アカデミー修復家スザンネ・コルタン)

絵画作品の修復

週2時間

同実習

週12時間

(基礎概説)

ゼミナール

週2時間

アカデミー修復家・彫刻家ハンス・マイヤル助手

木工学Ⅱ

週4時間

アカデミー修復家・画家レナーテ・ベルトルマン	
復原，補完および模写	週7時間
正教授フランツ・マイリンガー博士	
色彩学（ⅠまたはⅡ）	週1時間
保存の自然科学的原理	週2時間
哲学博士ベルンハルト・リッティンガー助手	
修復家のための美術史（Ⅰ，ⅡまたはⅢ）	週2時間
同演習	週2時間
哲学博士アカデミー修復家マンフレート・コラー	
文化財保護における実際的な修復上の諸問題	週3時間
カール・ドラゴ・ブレローク	
修復家のための書法	週1時間
第3学年度	
アカデミー修復家・画家レナーテ・ベルトルマン	
復原，補完および模写	週7時間
アカデミー修復家オットー・ヴェヒター名誉教授	
（アカデミー修復家カリン・ヤホダ，アカデミー修復家ヘルガ・ローゼンベルガー）	
版画素描および紙類の修復	週2時間
同実習	週4時間
（基礎概説）	
アカデミー修復家フランツ・クレー名誉教授	
金属工芸品および出土品の保存	週1時間
同実習	週4時間
哲学博士ゲルトルーデ・モスラー	
考古文化財の保護および発掘技術	週2時間
アカデミー修復家ルートヴィヒ・ノイシュティフター	
陶磁器，石製品，ガラス等の修復	週1時間
同実習	週5時間
（基礎概説）	
アカデミー修復家ペーター・クケルカ	
楽器の保存	週2時間
同実習	週6時間

(基礎概説)

正教授フランツ・マイリンガー博士

保存の自然科学的原理

週2時間

哲学博士ベルンハルト・リッティンガー助手

修復家のための美術史 (I, II または III)

週2時間

同演習

週2時間

工学士工学博士ハンス・フォラミッティ

文化財の調査と保護

週3時間

正教授哲学博士ヘルムート・コルタン

ゼミナール

週2時間

ヨハン・ライニンガー

科学写真ゼミナール

週4時間

法学博士アルフレート・ザンマー

法律学

週2時間

第4および第5学年度

修復実習 (基礎学修の発展継続)

週20時間

ゼミナール

週2時間

※1時間は45分間である。

(ウィーン美術大学「1978/79 冬学期履修手引」より)

保存技術学科略年譜

1908 修復講座（画家のための補助科目）

エドゥアルト・ゲリッシュ 1908—1915

ゼラフィン・マウラー 1917—1932

ロベルト・アイゲンベルガー 1933—1934

1934 保存および技術学専門学科

ロベルト・アイゲンベルガー 1934—1939

1939 保存および技術学専門家養成学科

主任：

ロベルト・アイゲンベルガー

1939—1945

技術学教授：

アルバート・マニャーギ

1939—1945

1945 保存技術学科

教授：

ロベルト・アイゲンベルガー

1946—1965

助手：

フランツ・ホヴァニーツ

1945—1955

アニー・テレスツク

1949—1952

カール・ニースナー

1952—1977

ミヒェル・ブッフエンビヒラー

1955—1959

フランベルト・ヴァルニャエルフェルス

1959—1960

マンフレート・コラー

1962—1965

デトレフ・クライドル

1963—1970

ヘルムート・コルタン

1965—

ミヒェル・ブッフエンビヒラー

1965—1970

ハンス・マイヤル

1970—

（この付表は Wagner, *Geschichte* 記載事項に最近のデータを加えて作成した。学科の名称は原名の若干の変更を分り易く便宜的に意識した。）

附表 4)

卒業論文

1 板絵	1966	W. インドラ
2 15—16世紀の木版画		G. ヴォルフミュラー
3 研磨滑沢白, 標本試作		S. ギンベル
4 金箔技法と刻印打ち		H. シュタングル
5 金箔地錦欄模様模写の試み		N. マルファッティ
6 麻布		N. アッテムス
7 麻布画の裏打ち		A. デムラー
8 天然膠		M. レンク
9 絵画用ワニスと溶剤, および絵画洗浄におけるそれらの乾性油に 及ぼす影響に関する覚え書		S. キラリー
10 金箔技法の発達	1967	A. シュヴェルツェル
11 ルーベンス風絵画技法寄与		G. ヴァーグナー
12 展色剤		E.M. ヒネック
13 樹脂油ワニス		U.A. ハッグ
14 数世紀間にわたる絵画の染料と顔料		E. ライゼンベルガー
15 セルビアとマケドニアの壁画		K. ダクスナー
16 17—18世紀の地, ボルスの地塗り		F. アーダム
17 筆記用紙類		A. ミュレンマイスター
18 合成樹脂接着剤の技術		A. ケラー
19 保護膜と絵具層の亀裂		M.-Ch. チェルニーン
20 気候(空調)		N. キルヒナー
21 ゴシックからバロック初頭までの絵画用額縁の発達		E. キッツィンガー
22 木彫作品の後補部除去解体における溶剤の利用について		E. アンブロス
22' 裏打ちにおける接合媒材としての紙		E. シュテューベ
23 絵画基底材としての織物	1968	Ch. シャル＝リオクール
24 絵画修復におけるナトリウム蒸気ランプの単色光線		I. ザイドル
25 金箔技法		E. ディットリヒ
26 ランバッハ司教座聖堂鐘塔のロマネスクのフレスコの科学技術的 再建とフレスコ技法復原の試み	1968	W. ゲッツィンガー
27 絵画修復における時代様式解釈の意義について		H. シンツェル

28	ヨーゼフ・ハイシネク以後の修復技法	H. ディートリヒ
		1969
29	装飾金銀粒の歴史と技術	F. クレー
30	オーストリアの絵画と木彫金箔地彩色との比較	M. ザイラー, E. クラモリン
31	B. スランスキ著 “Pruzum a restaurovani obrazu” (<i>Technika malby</i> , dil. 2.) の翻訳	O. ライナー
		1970
32	鉱山の情景を表したエマイユの制作	R. ベルトルマン
33	波紋鈎	H. マイヤル
		1971
34	フェルトキルヒ=レヴィスの聖マグダレーナ代理司祭聖堂内右側祭壇の修復	M. ホイスレ
35	美術品の蛍光分析	E. ムシル
36	ホット・テーブル, 構造と応用の可能性	A. ヒュッケル
		1972
37	絵画と彫刻の絵具層の固定	Th. ガイスパウアー
38	絵画洗浄とワニス除去のための溶剤	F. ヘーリング
39	修正加筆の鑑識のための方法と判定基準	M. ラーナッヒャー
40	油彩画修復における補彩	H. シュトゥルム
		1973
41	絵画修復における補填について	B. アフース
42	樹脂ワニス塗布における溶剤の濃度	A. プラスコヴィヒ
43	歴史的な壁画の保存技術学寄与	H. ヤーリッシュ
44	通常のワニスおよび特殊なエルヴァサイト樹脂の諸特性	M. ジームス
45	インク, とくに没食子酸鉄インク	I. ヴァルト
46	あるロシア・イコンを例としたイコン絵画の画法と技術	E. ベッチェ
47	裏打ちに関する考察	P. ブルクハルト
48	ラスター技法の発展	E. ザイベル
49	ブロンズに発生する有害な腐食とその防止の可能性	S. シュトラハヴィッツ
50	ポスター・カラーにおける下層顔料の滲出	M. クリングラー
51	絵具の人為的な酸化の進行に対する保護	H. ガラント
52	F. ファンドラーの代表作, ファルケンシュタインの十字路緑地の砂岩彫刻	L. ノイシュティフター
		1974
53	織物類の洗浄	G. ヴィーザー

- 54 補彩の倫理学と美学
 55 湿った漆喰の上に施す壁画の地塗り
 56 麻布画の修復に関する文献
 57 天然有機赤色染料
 58 補彩の手法的技術的問題
 59 移し替えによる壁画の損傷
 60 接着剤 BEVA 371 の発達
- 61 封蠟とその修復
 62 石の保存
 63 木の保存
 64 世紀末前後の陶器の表面装飾
 65 自然および人工の光源による染料と顔料の非褪色性の再検査
 66 板絵の固定と矯正のための力学的方式
 67 研磨滑沢白
 68 極東の紙
- 69 緑青
 70 象牙板ミニアテュール画の技術
 71 麻布画修復に関する文献
- 72 絵画の二重地塗りの問題について
 73 バスティリア、浮彫絵画の技術について
 74 オーストリア＝バイエルン地方の彫刻の玉眼
 75 ビスマス画
 76 地塗り、技法と歴史的概観
- 77 地塗りを施さない亜麻布パティスト画、ある歴史的テンペラ技術
 78 緑色顔料
 79 透写紙
 80 オットー・ヴァーグナーによる三点の建築素描の修復記録
 81 壁画の技法（試作品の制作）
- 82 球面の補完の可能性（地球儀修復の原理）
 83 16—17世紀スペインの彩色木彫の技法
- E. パチュラー
 W. グルーバー
 H. ハウスナー
 G. カルテンブルンナー
 E. マイアー
 F. ラル
 E. ヴォタヴァ
- 1975
- I. カッフル
 G. パーペ
 S. フェフェルレ
 H. グリーサー
 U. クレーバー
 W. ロサツヒャー
 A. ヴァーグナー
 B. ヴァーグナー
- 1976
- H. ホルレ
 C. マチュック
 C. マチュック
- 1977
- C. カール
 W. ダルンホーファー
 J. カンドル
 K. マイアー
 B. ベーリッツ
- 1978
- J. ガブリエル
 J. シュヴァーブ
 Ch. シュタインケルナー
 Ch. シュタインケルナー
 W. パーツ, O. フバチュク,
 R. ゼーバー, H. ヴァイラー
 O. ヴァインホルト
 I. オヨス

- | | |
|---|-------------|
| 84 特に極東を考慮したインクと墨の製造処方 | E. ヒットマイアー |
| 85 木材パルプ含有紙の成分であるリグニンの分析と処置 | Dr. F. ヘラー |
| 86 鉄の保存 | W. ミュラー |
| 87 紙の溶剤含有の問題 | E. トゥーレ |
| 1979 | |
| 88 「バステル画」, 歴史, 技法, 保存 | E. ドラクスラー |
| 89 ヨーロッパと中国の手刷り壁紙の歴史と技法 | A. フィードラー |
| 90 日本の仏教彫刻 | K. ハイスラー |
| 91 視機関と視機関絵, 18—19世紀の新たなメディアの起源と発達
および意味 | N. ヴァルツ |
| 92 ヨーゼフ・メーダーの紙類保存の処方 | P. ヘルム |
| 93 鋸の歴史的発達 | A. ホフィンガー |
| 1980 | |
| 94 木棺と新石器時代の湖上家屋の断片標本で実証されたポリエチレング
リコール法による湿った木材の保存; 現在よく知られている湿った木
材の保存法の可能性に関する記述 | M. マリウス |
| 95 マルタ・ムシル, 生涯, 作品および意義 | U. ビューリンガー |
| 96 素描版画類の修復における還元漂白剤としての水素化ホウ素ナト
リウム, 顔料とインクに対する反応 | A. シャイアル |
| 97 エンス (上部オーストリア) に現存する紀元 3—4 世紀のローマ
時代の壁画の保存 | H. シュヴァーハ |
| 98 17世紀のリガール (風琴) の修復 | W. シュトロマイヤー |
| 1980 | |
| 99 a) 紙における溶剤の吸着, ガスクロマトグラフィーによる検出
b) ヨアン・ブロイ作ドイツ掛図の修復 | M.-F. トッバイ |
| 100 絵画裏打ち寄与 | H.-P. マルティ |

Meisterschule für Konservierung und Technologie

HSProf. Dr. Helmut Kortan—Leiter

HSAss. ak. Rest. Hans Mayerl

ak. Rest. Helga Rosenberger

ak. Rest. Karin Jahoda

ak. Rest. Susanne Kortan

Lehrbeauftragte für Konservierung und Technologie:

ak. Rest. Renate Bertlmann

Dipl.-Ing. Dr. techn. Hans Foramitti

Univ.-Prof. Dr. Alfred Gisel

ak. Rest. Karin Jahoda

ak. Rest. Franz Klee

Dr. phil. Manfred Koller

ak. Rest. Susanne Kortan

ak. Rest. Peter Kukelka

HSProf. Dr. Franz Mairinger

HSAss. ak. Rest. und Bildh.

Hans Mayerl

Dr. phil. Gertrude Mossler

ak. Rest. Ludwig Neustifter

Erika Reininger

Johann Reininger

HSAss. Dr. Bernhard Rittinger

ak. Rest. Helga Rosenberger

Prof. Dr. Karl Smetana

Prof. Otto Wächter

Rekonstruktion und Integration

Dokumentation und Schutz von Kulturgütern

Anatomie

Graphik- und Papierrestaurierung

Konservierung von Kunstobjekten

aus Metall und Bodenfunden

Aktuelle Probleme in der Denkmalpflege

Restaurierung von Faßmalerei und Skulptur

Konservierung von Musikinstrumenten

Mikroskopie und wissenschaftliche

Photographie, Farbenlehre, Farbenchemie

Holztechnologie

Bodendenkmalpflege und Grabungstechnik

Porzellan, Stein, Glas- und Holzrestaurierung

Wissenschaftliche Photographie, Seminar

Wissenschaftliche Photographie

Kunstgeschichte

Graphik- und Papierrestaurierung

Allgemeine Perspektive

Restaurierung von Papier und Graphik

(Studienführer 1978/79, Hochschule „Akademie der bildenden Künste“ in Wien)

Stundenplan für Konservierung und Technologie:

1. Studienjahr

ak. Rest. Susanne Kortan	
Restaurierung von Faßmalerei und Skulptur	2 Wochenstunden
Übungen aus . . .	10 Wochenstunden
(Einführung)	
HSAss. ak. Rest. und ak. Bildhauer Hans Mayerl	
Werkzeugkunde und Holztechnologie I	4 Wochenstunden
ak. Rest. und ak. Maler Renate Bertlmann	
Rekonstruktion, Integration und Kopieren	7 Wochenstunden
o. Univ.-Prof. Dr. Alfred Gisel	
Anatomie	2 Wochenstunden
Anatomisches Zeichnen	3 Wochenstunden
o. HSProf. Dr. Franz Mairinger	
Farbenlehre (I oder II)	1 Wochenstunde
Farbenchemie und Malmaterialkunde	2 Wochenstunden
Farbenchemisches Praktikum und künstlerische Techniken	2 Wochenstunden
Chemierepetitorium für Restauratoren	1 Wochenstunde
Dr. techn. Karl Smetana	
Allgemeine Perspektive	2 Wochenstunden
HSAss. Dr. phil. Bernhard Rittinger	
Kunstgeschichte für Restauratoren (I, II oder III)	2 Wochenstunden
Übungen aus . . .	2 Wochenstunden

2. Studienjahr

o. HSProf. Dr. phil. Helmut Kortan	
(ak. Rest. Susanne Kortan)	
Restaurierung von Gemälden	2 Wochenstunden
Übungen aus . . .	12 Wochenstunden
(Einführung)	
Hauptseminar	2 Wochenstunden
HSAss. ak. Rest. und ak. Bildhauer Hans Mayerl	
Holztechnologie II	4 Wochenstunden
ak. Rest. und ak. Maler Renate Bertlmann	
Rekonstruktion, Integration und Kopieren	7 Wochenstunden
o. HSProf. Dr. Franz Mairinger	
Farbenlehre (I oder II)	1 Wochenstunde
Naturwissenschaftliche Grundlagen der Konservierung	2 Wochenstunden

HSAss. Dr. phil. Bernhard Rittinger	
Kunstgeschichte für Restauratoren (I, II oder III)	2 Wochenstunden
Übungen aus . . .	2 Wochenstunden
Dr. phil. ak. Rest. Manfred Koller	
Aktuelle restauratorische Probleme in der Denkmalpflege	3 Wochenstunden
Karl Drago Prelog	
Schrift für Restauratoren	1 Wochenstunde
3. Studienjahr	
ak. Rest. und ak. Maler Renate Bertlmann	
Rekonstruktion, Integration und Kopieren	7 Wochenstunden
ak. Rest. Prof. h. c. Otto Wächter	
(ak. Rest. Karin Jahoda und ak. Rest. Helga Rosenberger)	
Restaurierung von Graphik und Papier	2 Wochenstunden
Übungen aus . . .	4 Wochenstunden
(Einführung)	
ak. Rest. Prof. h. c. Franz Klee	
Konservierung von Kunstobjekten aus Metall und	
von Bodenfunden	1 Wochenstunde
Übungen aus . . .	4 Wochenstunden
Dr. phil. Gertrud Mossler	
Bodendenkmalpflege und Grabungstechnik	2 Wochenstunden
ak. Rest. Ludwig Neustifter	
Restaurierung von Keramik, Porzellan, Stein, Glas usw.	1 Wochenstunde
Übungen aus . . .	5 Wochenstunden
(Einführung)	
ak. Rest. Peter Kukelka	
Konservierung von Musikinstrumenten	2 Wochenstunden
Übungen aus . . .	6 Wochenstunden
(Einführung)	
o. HSPProf. Dr. Franz Mairinger	
Naturwissenschaftliche Grundlagen der Konservierung	2 Wochenstunden
HSAss. Dr. phil. Bernhard Rittinger	
Kunstgeschichte für Restauratoren (I, II oder III)	2 Wochenstunden
Übungen aus . . .	2 Wochenstunden
Dipl.-Ing. Dr. techn. Hans Foramitti	
Dokumentation und Schutz von Kulturgütern	3 Wochenstunden
o. HSPProf. Dr. phil. Helmut Kortan	
Hauptseminar	2 Wochenstunden
Johann Reininger	
Seminar Wissenschaftliche Photographie	4 Wochenstunden

Dr. jur. Alfred Sammer

Rechtskunde

2 Wochenstunden

4. und 5. Studienjahr

Übungen aus Restaurierung (Fortsetzung nach
den Einführungen)

20 Wochenstunden

Hauptseminar

2 Wochenstunden

(Studienführer 1978/79, Hochschule „Akademie der bildenden Künste“ in Wien)

Chronologische Tabelle

1908 *Restaurierkurs (Hilfsfach für Maler):*

Eduard Gerisch 1908—18. VII. 1915

Serafin Maurer 1917—1932

Robert Eigenberger 1933—1934

1934 *Fachschule für Konservierung und Technologie:*

Robert Eigenberger 1934—1939

1939 *Fachmeisterschulen für Konservierung und Technologie:*

Leiter: Prof. der Technologie:

Robert Eigenberger 1939—1945 Albert Magnaghi 1939—1945

1945 *Meisterschule für Konservierung und Technologie:*

Professor: Assistenten:

Franz Howanietz

1945—1955

Robert Eigen-

berger 1946—1965

Aenny Teresczuk

1949—13. IX. 1952

Karl Niessner

1952—1977

Michel Pfaffen-

bichler 1955—1959

Frambert Wall-

Beyerfels

1959—1960

Manfred Koller

1962—1965

Detlev Kreidl

1963—1970

Helmut Kortan

1965—

Michel Pfaffen-

bichler 1965—1970

Hans Mayerl

1970—

(Walter Wagner, *Die Geschichte der Akademie der bildenden Künste in Wien*, Wien 1967, S. 383, 385, 390, 393)

Diplomarbeiten

	1966	
1 Holztafeln		Waltraud Jindra
2 Der Holzschnitt im 15. und 16. Jahrhundert		Gertraud Wolfmüller
3 Polierweiß, Proben		Susanne Gimbel
4 Vergoldung und Punzierung		Heinz Stangl
5 Versuche zur Nachahmung von Pressbrokaten		Nino Malfatti
6 Leinwand		Nora Attems
7 Das Doublieren von Leinwandgemälden		Angelika Demmler
8 Die natürlichen Leime		Marlies Lennkh
9 Bemerkungen über Gemäldefirnisse, Lösungsmittel und ihre Wirkung auf trocknende Öle bei der Gemäldereinigung		Suzanne Kiraly (Moss)
	1967	
10 Die Entwicklung der Vergoldetechnik		Annelies Schwärzel
11 Beitrag zur Rubens'schen Maltechnik		Georg Wagner
12 Bindemittel		Eva Maria Hynek
13 Harzölfirnisse		Ursula A. Hagg
14 Farben und Pigmente in der Malerei im Laufe der Jahrhunderte		E. Reisenberger (Derschmidt)
15 Wandmalerei in Serbien und Mazedonien		Kamilla Daxner
16 Die Bolusgrundierung, der Grund des 17. und 18. Jahrhunderts		Friederike Adam
17 Schreibstoff		Anette Müllenmeister
18 Die Technologie von Kunstharzklebern		Agathe Keller
19 Krakelüren		Maria-Ch. Czernin
20 Klima		Norbert Kirchner
21 Die Entwicklung des Bilderrahmens von der Gotik bis zu den Anfängen des Barock		Elisabeth Kitzinger
22 Über die Verwendung von Lösungsmittel bei der Freilegung von Holzbildwerken		Elinor Ambros
22' Papier als Zwischenträger bei Doublierungen		Erhard Stöbe
	1968	
23 Gewebe als Bildträger		Christiane Schall-Riaucour
24 Das monochromatische Licht der Natriumdampflampe bei der Gemälderestaurierung		Ingeborg Seidl
25 Vergoldungen		Elisabeth Dittrich
	1968	
26 Der technologische Aufbau der romanischen Fresken im Läuhaus der Stiftskirche zu Lambach und der Versuch einer Rekonstruktion des Malvorganges		Wolfgang Götzing
27 Über die Bedeutung zeitstilbedingter Interpretation in der Gemälderestaurierung		Hiltrud Schinzel
28 Restaurierungsmethode nach Josef Hajsinek		Hubert Dietrich
	1969	
29 Zur Geschichte und Technologie der Granulation		Franz Klee
30 Ein Vergleich der Malerei und Faßmalerei in Österreich		Marina Seiller, Edda Kramolin

31	Übersetzung von Bohuslav Slansky, Technika malby, dil. 2. Pruzum a restaurovani obrazu		Olga Rainer
32	Emailarbeiten mit Bergbaurdarstellungen	1970	Renate Bertlmann (Mück)
33	Der Flammhobel		Hans Mayerl
34	Die Restaurierung des rechten Seitenaltares in der Vikariatskirche zur hl. Magdalena in Feldkirch-Levis	1971	
35	Fluoreszenzanalyse an Kunstwerken		Margarete Häusle
36	Der Heiztisch, Konstruktion und Anwendungsmöglichkeiten		Erwin Musil
37	Festigung von Malschichten an Bildern und Skulpturen	1972	Angela Hückel
38	Lösungsmittel zur Gemäldereinigung und Firnisabnahme		Therese Gaisbauer
39	Methoden und Kriterien zur Erkennung von Übermalungen		Franz Höring
40	Die Retusche in der Ölgemälderestaurierung		Maria Ranacher
41	Zur Kittung in der Gemälderestaurierung	1973	Herbert Sturm
42	Lösungsmittelinklusion bei Harzfirnissen		Barbara Afuhs
43	Ein Beitrag zur Konservierung und Technologie historischer Wandmalereien		Angelika Blaskovich
44	Eigenschaften der Firnisse im allgemeinen und der Elvacite-Harze im speziellen		Heliane Jarisch
45	Tinten, insbesondere Eisengallustinten		Manfred Siems
46	Die Ikonenmalerei und ihre Technologie am Beispiel einer russischen Ikone		Ingrid Wald
47	Gedanken zur Doublierung		Erzsebet Petsche
48	Die Entwicklung der Lüstertechnik		Peter Purkhart
49	Schädliche Korrosionsprodukte an Bronzen und die Möglichkeiten ihrer Bekämpfung		Eva Seiberl
50	Blutende Farbmittel in der Plakattempera		Stephanie Strachwitz
51	Schutz von Farben gegen künstliche Oxidationsvorgänge		Michael Klingler
52	Die Sandsteinskulpturen der Kreuzweganlage in Falkenstein, ein Hauptwerk Ferdinand Pfandler's		Heinrich Galland
53	Die Reinigung von Textilien	1974	Ludwig Neustifter
54	Ethik und Ästhetik der Retusche		Gertrud Wieser
55	Einige Malgründe für Wandmalerei auf nassem Putz		Elisabeth Batchelor
56	Literatur über Restaurierung von Leinwandgemälden		(Bauer-Debois)
57	Die natürlichen organischen roten Farbstoffe		Wolfgang Gruber
58	Das methodisch-technische Problem der Retusche		Hermine Hausner
59	Übertragungsschäden an Wandmalereien		Gerda Kaltenbrunner
60	Die Entwicklung des Klebers BEVA 371		Elisabeth Mayr
			Franziska Rall
			Edda Wotawa

	1975	
61 Das Wachssiegel und seine Restaurierung		Irmgard Kaffl
62 Steinkonservierung		Günter Pape
63 Holzkonservierung		Susanna Feferle
64 Oberflächendekorierung an Keramiken der Jahrhundertwende		Hermine Grießer
65 Überprüfung der Lichtechtheit von Farbstoffen und Pigmenten durch natürliche und künstliche Lichtquellen		Ursula Kroeber
66 Mechanische Systeme zur Stabilisierung und Begradigung von Holztafeln		Walter Rossacher
67 Polierweiß		Angelika Wagner
68 Das Papier im Fernen Osten		Barbara Wagner
	1976	
69 Grünspan		Helmgard Holle
70 Die Technologie der Miniaturmalerei auf Elfenbein		Cornelia Macsek
71 Literatur über Restaurierung von Leinwandgemälden		Cornelia Macsek
	1977	
72 Zum Problem der Doppelgrundierungen an Gemälden		Chatlotte Karl
73 Pastiglia, zur Technik der erhabenen Malerei		Waltraud Darnhofer
74 Eingesetzte Augen an Skulpturen im österreichisch-bayrischen Raum		Johanna Kandl
75 Wismutmalerei		Katharina Mayr
76 Grundierungen, Technologie und historischer Überblick		Beate Beelitz
	1978	
77 Tüchleinmalerei, eine historische Temperatechnik		Jutta Gabriel
78 Grünpigmente		Julia Schwab
79 Transparentpapier		Christine Steinkellner
80 Dokumentation zur Restaurierung von 3 Architektur-zeichnungen von Otto Wagner		Christine Steinkellner
81 Techniken der Wandmalerei (praktische Proben)		Wolfgang Baatz, Otto Hubacek, Rudolfine Seeber, Heinz Weiler
82 Die Ergänzungsmöglichkeiten einer Kugeloberfläche (Grundlage zur Globusrestaurierung)		Olaf Weinhold
83 Technik der polychromierten Holzkulptur im 16. und 17. Jahrhundert in Spanien		Isabel Hoyos (Seefried)
84 Die Rezepte zur Herstellung von Tinten und Tuschen unter besonderer Berücksichtigung des Fernen Ostens		Elisabeth Hittmair
85 Analyse und Behandlung des Lignins als Bestandteil holzschliffhältiger Papiere		Dr. Friederike Heller
86 Eisenkonservierung		Wolfgang Müller
87 Zum Problem der Lösungsmittelinklusion im Papier		Edith Toure
	1979	
88 „Pastellmalerei“, Geschichte, Technik, Erhaltung		Eva Draxler
89 Geschichte und Technik der handgedruckten Papiertapete in Europa und China		Andrea Fiedler
90 Japanische buddhistische Skulptur		Klaus Heißler
91 Guckkasten und Guckkastenbild, Entstehung, Entwicklung und Bedeutung eines neuen Mediums im 18. u. 19. Jahrhundert		Nicola Waltz

- | | | |
|-----|--|-----------------------|
| 92 | Joseph Meders Rezepte zur Papierkonservierung | Petra Helm |
| 93 | Die historische Entwicklung der Sägen (bis Ende Mittelalter) | Andreas Hofinger |
| | 1980 | |
| 94 | Feuchtholzkonservierung demonstriert an einem Baumsarg
sowie an neolithischen Pfahlbauproben nach der
Polyäthylenglycol-Methode; Beschreibung von den derzeit
bekannten Feuchtholz-Konsevierungsmöglichkeiten | Michael Marius |
| 95 | Martha Musil, Leben, Werk und Bedeutung | Ursula Pühringer |
| 96 | Das Natriumborohydrid als reduzierendes Bleichmittel in der
Graphikrestaurierung, Verhalten gegenüber Pigmenten und Tinten | Angela Scheierl |
| 97 | Die Konservierung der in Enns (Oberösterreich) geborgenen römischen
Wandmalereien aus der Zeit des 3. und 4. Jahrhunderts | Herbert Schwaha |
| 98 | Rekonstruktion eines Regals aus dem 17. Jahrhundert | Wolfgang Strohmayer |
| | 1980 | |
| 99 | a) Adsorption von Lösungsmitteln an Papier, Untersuchungen mittels
Gaschromatographie | |
| | b) Die Restaurierung einer Deutschland-Wandkarte von Joan Blaeu | Maria-Felicitas Tupay |
| 100 | Beiträge zur Gemäldedoublierung | Hans-Peter Marty |

Seminararbeiten

	1969	
01	Erhaltung und Wiederherstellung von Bodenfunden	Renate Bertlmann
02	Restaurierung metallischer Bodenfunde	Franz Höring
03	Restaurierung von urnenfelderzeitlichen Bronzege­räten	Manfred Siems
	1970	
1	Das Maya Blau	Isabel Seefried (Hoyos)
2	Spanische Konservierungs- und Restaurierungstätigkeiten	Isabel Seefried (Hoyos)
3	Studienaufenthalt am Schweizerischen Institut für Kunstwissenschaft in Zürich	Hans Mayerl
4	Florenzbericht	I. Seefried u. Herbert Sturm
5	Ikonographische Betrachtung einer nordgriechischen Sammelikone	Peter Stransky
6	Die Retusche bei Ölgemälden	Herbert Sturm
7	Die Restaurierung der Inneneinrichtung der Kirche von Jois	Margarete Häusle
8	Einbettung von Fassungsproben	Franz Höring
9	Problem der Blaupigmente	Barbara Afuhs
10	Historische Temperatechniken	Maria Ranacher
11	Eine Untersuchung des Buches vom Berge Athos in Bezug auf die Wandmalerei	Erwin Musil
12	Lüstrierung an Holzplastiken	Brigitte Woda
13	Restaurierung von sechs Bildern im Kloster Mehrerau/Bregenz	Heinrich Galland
14	Florenzbericht	M. Ranacher u. Eva Seiberl
15	Materialien zur Festigung von Fresken	Heliane Jarisch
	1971	
16	Restaurierung einer Temperamalerei auf Papier	Margarete Häusle
17	Archäologische Ausgrabungen in Ephesos	Angelika Blaskovich
18	Gemäldedoublierung	Peter Purkhart
19	Aufenthalt am Conservation Center, Institute of Fine Arts, New York University	Stephanie Strachwitz
20	Technische Verarbeitung eines Leinwandbildes am Heiztisch	Barbara Afuhs
21	Die Dauerkaschierung als Konservierungsmethode	Michael Klingler
22	Lüstertechnik	Eva Seiberl
23	Bemalte Oberösterreichische Bauernmöbel	Eva Seiberl
24	Untersuchung auf Nachdunkeln der Ölfarbetusche	Peter Sturm
25	Restaurierung geschwärtzter Weißpigmente	Michael Klingler
26	Der Passepartout	Maria Ranacher
27	Römische Münzen 2. Teil	Stephanie Strachwitz
28	Wachsdoublierung auf dem Heiztisch	Heinrich Galland
29	Die Wandmalerei im 11. u. 12. Jahrhundert	Heliane Jarisch
30	Geschichte und Bestimmung römischer Münzen	Elisabeth Bauer-Debois
31	Reinigung und Konservierung römischer Münzen	Elisabeth Mayer
	1972	
32	Acrylharzfarben/Papier	Gerda Kaltenbrunner
33	Regenerierung verblaßter Eisengallustinten auf Pergament	Ingrid Wald
34	Fliesen, Geschichte	Elisabeth Mayr
35	Fliesen, Technologie	Elisabeth Bauer-Debois
36	Doublieren auf dem Heiztisch	Christine Petsche

37	Konservierung und Restaurierung von Kacheln	Stephanie Strachwitz
38	Enzymatische Trennung caseingeleitmer Kreidepapiere	Wolfgang Gruber
39	Veränderungen durch "Verharzen"	Heinrich Galland
40	Ostasiatische Lackkunst	Barbara Afuhs
42	Konservierung von Steinobjekten	Günter Pape
43	Restaurierung einer Frührenaissance Retabel	S. Feferle, A. Wagner
44	Firnisse	Mafred Siems
45	Porzellan	Manfred Siems
46	Wachskitte an Fehlstellen von Bildern und Skulpturen	Franziska Rall
	1973	
47	Brokatimitationen im 15. Jahrhundert	Isabel Hoyos (Seefried)
48	Holzerstörende Großpilze	Edda Wotawa
49	Restaurierung einer spätgotischen weiblichen Heiligen, Nordtirol 1490	Susanne Feferle
50	Über die Verwendung des Sternenhimmels als Hintergrundmalerei in der Gotik	Angelika Wagner
51	Über die Arbeit an der spätgotischen Skulptur „Hl. Anna Selbdritt“	Wolfgang Gruber
52	Bericht über das einjährige Praktikum in der Schweiz (Zürich)	Hermine Hausner
53	Florenzbericht	Hermine Hausner
54	Konservierung und Restaurierung einer mittelalterlichen Keramik	
	1973	
55	Bericht über Restaurierungsarbeiten und -methoden am Courtauld Institut und am Victoria & Albert Museum, London	Gerda Kaltenbrunner
56	Restaurierung der Fresken Antonio Beduzzi's im Festsaal des Niederösterreichischen Landhauses in Wien	Walter Rossacher
57	Bleiweiß und Zinnober, zwei schwärzende Pigmente	Irmgard Kaffl
58	Restaurierung einer gotischen Madonna	Wilma Griebner
	1974	
59	Dokumentation über gefaßte Holzsulpturen	Cornelia Macsek
60	Das Munch Museum in Oslo	Gertrud Wieser
61	Bericht über ein Praktikum in Textilrestaurierung an verschiedenen denkmalpflegerischen Institutionen Polens	Gertrud Wieser
62	Probleme bei der Restaurierung von Wandmalereien (Ferialpraxis, Rom)	Franziska Rall
63	Tibetanische Rollbilder und die Restaurierung	Gertrud Wieser
64	Allgemeines über Schimmelpilze	Edda Wotawa
65	Das pontifikale Gewand des europäischen Raumes, seine Entwicklung, symbolisch-mythische Deutung; die liturgischen Farben in Bezug auf das liturgische Gewand; die Tracht der Heiligen im Bildwerk	Barbara Wagner
66	Restaurierung von Kleinfunden aus der Grabung „Maria-Magdalena-Kapelle“ auf dem Stephansplatz in Wien	Walter Rossacher
67	Restaurierung einer spätgotische Predellagruppe, Beweinung Christi	Asa Sandberg
68	Übersetzungen aus dem Russischen: Siltschenko T.N., Gemäldeuntersuchung mit Röntgenstrahlen und UV-Strahlen	

- Panfilova O.I. u. Siltschenko, Untersuchung der „Kreuzigung“
von Paolo Veronese
Kostrow I.I., Technologische Untersuchung der Bilder „Kreuzigung“
von Tizian und „Beweinung Christi“ von Veronese
Panfilova O.I., Neue Methoden zur Wiederherstellung der Firnissschichte
von Gemälden Elisabeth Petsche
Cornelia Macsek
Helmgard Holle
Ursula Kroeber
Ursula Kroeber
- 69 Schutzmöglichkeiten an lichtempfindlichen Pigmenten
70 Museumsklima—Museumsbeleuchtung
71 Hinterglasbilder
72 Test mit dem UV-Absorber Uvitex OB (Ciba-Geigy) 1975
- 73 Ein Versuch zur visuellen Rekonstruktion der Farbpalette des Theophil
Presbyter, *Schedula diversarum artium* Barbara Wagner
74 Über die Herstellung von Farblacken Johanna Kandl
75 Mennige Helmgard Holle
76 Restaurierung des „Indischen Priesters“ von Arthur Strasser Susanne Feferle
77 Eine tiroler Immaculata-Skulptur (Technolog. Untersuchung,
kunsthist. Einordnung, Restaurierung)
78 Bergblau Walter Rossacher
79 Lösungsmittelinklusiven in Papier Waltraud Darnhofer
Edith Bielohlawek
- 1976
- 80 Restaurierung von fünf keramischen Objekten (Stempel, Signatur,
Material) Charlotte Karl
81 Grundierungen an Tafelbildern vom Mittelalter bis zur Neuzeit
(Literaturarbeit) Edith Bielohlawek
82 Wässrige Firnisse Johanna Kandl
- 1977
- 83 Restaurierung eines japanischen Paravents Elisabeth Hitmair
84 Untersuchungen von doppelten oder mehrschichtigen
Grundierungen an Gemälden von 1670–1740 Charlotte Karl
85 Die Farbgebung der Barockaltäre in der Fraziskanerkirche in Wien Edith Toure
86 Fresco- und Seccomalerei, Erprobung einiger Rezepturen Baatz—Draxler, Gabriel—
Hittmair, Heller—Hubacek,
Müller—Schwab, Seeber—
Weinhold, Weiler
Christine Steinkellner
- 87 Mittelalterliche Keramik Elisabeth Hittmair
88 Bericht über die Arbeit in der Restaurierwerkstätte der
niederösterreichischen Landesbibliothek Wolfgang Müller
89 Der römische Gesichtshelm von Herzogenburg Olaf Weinhold
90 Die Herstellung von Globen in der Werkstatt von Blaeu Olaf Weinhold
91 Historische und technologische Entwicklung von Globen
92 Neue Trägermaterialien bei der Übertragung von Wand-
malereien, praktisch erprobt am Beispiel der Restaurierung und
Übertragung eines romanischen Freskos
93 Das Sgraffito in Österreich, Restaurierung der Sgraffitofassade der
Universität Wien Otto Hubacek, Heinz Weiler
Nicola Waltz

- | | | |
|-----|--|--|
| 94 | Sgraffito: Technik und stilistische Entwicklung; das „Gemalte Haus“ in Eggenburg | Klaus Heißler |
| 95 | Die Konservierung und Restaurierung von Setztartschen aus dem Besitz des Historischen Museums der Stadt Wien | Eva Draxler, Andrea Fiedler
Dr. Friederike Heller |
| | 1978 | |
| 96 | Restaurierung eines Tafelbildes | Andreas Hofinger |
| 97 | Thangka | Jutta Gabriel |
| 98 | Die Retusche nach der Methode von Josef Hajsinek | Christine Steinkellner |
| 99 | Die Problematik der Mikroorganismen in der Graphikrestaurierung | Christine Steinkellner |
| 100 | Die Doernersche Mischtechnik und ihre Möglichkeiten bei der Anfertigung einer Kopie | Wolfgang Müller |
| 101 | Vergleich der beiden Holztafeln von Lambert Lombard und einem Nachfolger von Quentin Massys mit Hilfe von photographischen Untersuchungsmethoden | Jutta Gabriel |
| 102 | Die Restaurierungsarbeiten an einem Pergamentbild | Julia Schwab |
| 103 | Die Technik der Gefriertrocknung | Julia Schwab |
| 104 | Die Restaurierung des Clavichordes G 48 aus dem Museum Carolino Augusteum in Salzburg, Entwicklung der Clavichorde | Wolfgang Strohmayer |
| 105 | Neue Doubliermethoden | Hans-Peter Marty |
| 106 | Geschichte und Theorie der Denkmalpflege und deren Auswirkungen auf die Restaurierung | Andrea Fiedler |
| | 1979 | |
| 107 | Bergung und Konservierung eines römischen Mosaiks | Michael Marius, Christoph Serentschy |
| 108 | Restaurierung eines kleinen Hammerklaviers (Biedermeier Nähtischklavier) | Andreas Hofinger |
| 109 | Restaurierung eines Marmorkopfes aus Ephesus | Klaus Heißler, Klaus Schorz |
| 110 | Die Restaurierung des Marmorportales von Stift Lambach | Klaus Schorz |
| 111 | Überprüfung der Genauigkeit der Merck'schen pH-Indikatorstäbchen im Vergleich zu anderen Meßmethoden | Nicola Waltz |
| 112 | Der mittelalterliche Künstler bei der Arbeit | Andreas Hofinger |
| 113 | Die Kopie als Hilfsmittel der Denkmalpflege, Kopie eines Clavichordes, E. 18. Jhdt. | Wolfgang Strohmayer |
| 114 | Restaurierung eines Globus aus dem frühen 18. Jhdt. | Maria-Felicitas Tupay |
| | 1980 | |
| 115 | Restaurierung von drei neolithischen Gefäßen (Grabungsbericht von der Grabung auf dem Schanzboden bei Poysdorf-Falkenstein, Niederösterreich) | Michael Marius |
| 116 | Rekonstruktion einer Zierplatte eines römischen Brustpanzers (Bronzerelief) | Klaus Schorz |
| 117 | Alterung von Doubliermaterialien | Hans-Peter Marty |
| 118 | Bindemittel als Bleichschutz (Versuche in der Chlordioxidanlage mit ligninhaltigen Papieren) | Angela Scheierl |
| 119 | Restaurierung zweier Landkarten | Angela Scheierl |
| 120 | Geschichte und Technologie des chinesischen Porzellans (7. bis 19. Jahrhundert) | Maria-Felicitas Tupay |

121	Restaurierung des „Stammbaumes der Familie Auersperg“	Ursula Pühringer
122	Probleme der Pergamentrestaurierung:	
	1. Temperamalerei auf Pergament	Raja Reichmann
	2. Spitzenbildchen auf Pergament	Raja Reichmann
123	Restaurierung einer chinesischen emaillierten Schale	
124	Restaurierung aus der Sicht von Funktion und Gebrauchswert, dargestellt am historischen Geigenbau	Alfons Huber
125	Die chinesische Keramik von den Anfängen bis zur Ming-Zeit (Irdenware und Steinzeug)	Angela Scheierl
126	Die Restaurierung eines römischen Helmes aus der frühen Kaiserzeit	Ursula Pühringer
127	Restaurierung eines barocken Planetariums von Ph. Vayringe	Christoph Serentschy
128	Restaurierung römischer Fresken, Magdalensberg, Kärnten	Herbert Schwaha
129	Restaurierung eines awarischen Säbels	Herbert Schwaha
130	Arbeitshygiene und Gesundheitsschutz bei der Restaurierung	Hemma Kundratitz
131	Die Restaurierung eines Stiches der Gnadenmadonna von Einsiedeln	Hemma Kundratitz
132	Die Restaurierung eines Gemäldes von R. Bitterlich	Angelika Kathrein
133	Die Restaurierung eines Leinwandgemäldes unter Berücksichtigung der Weiterverwendung als Geheimtür	Andrea Donau, Irene Engelhardt